

全国一般福岡地方本部ニュース

(事務所) 福岡県北九州市小倉北区真鶴1-5-15 北九州総合労働会館3階 (発行日) 2015年1月1日



謹賀新年

全国一般福岡地方労働組合

執行委員長 山岡直明

2015年、新たな闘いの年が明けました。

昨年は、全国一般中小労働運動の前進のために職場・地域で奮闘いただいた、組合員・家族の皆さん、更に地域の連帯する労働者の皆様に、心から感謝申し上げます。

昨年12月に行われた衆議院選挙は、沖縄の小選挙区で自民党の全敗で反自民勢力の勝利があったものの、全国的には自公政権の安定多数を許してしまいました。

我々福岡地本も、暴走する安倍政権に対し、「原発全廃」、「集団的自衛権の閣議決定」反対、非正規労働者を大幅に増やす「派遣法の大改悪」反対、特定秘密保護法制定反対、消費税増税・法人税減税反対など、悪政にきっぱりノーを突きつけ退場させるため、急ぎょ福岡11区に藤中寛之さんを社民党公認で立候補することを決定し闘いました。また、福岡県下では、自治労組織内候補藤田一枝さんをはじめ、山本剛正さん、稲富修二さん、楠田大蔵さん、緒方林太

郎さん、きいたかしさんの当選と社民党、民主党の支持拡大を目指し奮闘しました。

その結果、今回は「緒方林太郎さん」(民主党九州比例)、「吉川はじめさん」(社民党九州比例)の二人の当選をさせることができました。このことは、最後まで奮闘いただいた組合員・家族の皆さんをはじめ、ご支援いただいた多くの皆さんによる成果であり、心よりお礼申し上げます。

しかし、一強他弱という結果は、労働者や勤労国民にとっては引き続き厳しい情勢下に置かれることを意味しています。今後、安倍政権は、国民に白紙一任を受けたとして、強引な政権運営を強行してくると思います。

これに対抗していくには、働く者の立場に立つあらゆる勢力が結集し、国民的な大衆運動を構築して闘っていく以外にないと思います。

年明け早々、2015春闘の取り組みや、多くの組合員が立候補する統一自治体選挙闘争が始まります。さらに、平行して脱原発・反戦平和の取り組みなども、しっかり進めていかなければなりません。

とりわけ、資本・経営側の組織破壊攻撃や反合理化闘争を裁判、県労委闘争などで闘っている分会については、なんとしても早期勝利解決を目指し、闘いを強化しなければなりません。昨年末には、福岡支部坂本電機製作所分会が不当解雇の地位確認訴訟で勝利判決を勝ち取ったり、北九州支部ヴァーナル分会が裁判で勝利解決するなど闘いは大きく前進しました。闘争分会の支援行動を全体で強化していきましょう。

そして、待ったなしが組織強化、拡大の取り組みです。我々は、自らが勇気を振り絞り労働組合に加盟して経営側と闘いはじめ、今日まで奮闘し続けていることに自信と確信を持ちましょう。そして、我々は自らの職場闘争だけでは私たち自身の運動は達成しないことも知り尽くしています。同業他社や地域に労働組合が増えなければ、経営側の労働力の買いたたきや劣悪な賃金労働諸条件は改善できません。組合員の皆さん、苦しんでいる多くの未組織労働者に手をさしのべようではありませんか。

福岡地本では、各支部で新たに強い決意をもった組合員が専従者に配属されたり、若い活動家が多く育っています。この1年は、地本、支部において学習会を多く開催していきたいと考えます。

今年の闘いは、いずれも厳しい情勢下でのたたかいとなります。ピンチはチャンスであり、多くの仲間が結集する情勢があり、我々の頑張りしだいで運動は飛躍的に前進します。我々は決して怯むことなく、中小労働者や社会的弱者の生活を守り、平和で民主的で、安心して暮らせる社会の実現にむけて、どうか、組合員のみなさん、絆をさらに深め、一層のご奮闘とご協力をお願いします。

最後に、皆さんにとりまして今年がより良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。

坂本電機製作所分会

福岡地裁で地位確認と 賃金支払いの勝利判決！！

福岡地裁福岡支部は、11月10日、会社から整理解雇された吉田組合員の地位確認訴訟事件について、原告吉田組合員の全面勝利判決を言い渡した。

会社は、平成24年10月20日、17年半勤め企業内組合の委員長もしてきた吉田組合員を整理解雇した。裁判所は、判決理由のなかで、会社が事前に行った希望退職は予定していた人員削減の目標を達成できていたこと、吉田組合員以外には出向を打診していないこと、人選の基準に合理性がないこと、会社前会長の退職金に8000万円以上支出していることなどを総合的に判断し、整理解雇は合理性はなく、解雇権の濫用で無効であると断じた。会社の不当解雇から約2年後の勝利判決である。

この間、全国一般、自治労、地域共闘による抗議集会など坂本電機製作所分会の闘いを支えてきた。会社は、上告をせず、昨年12月24日、団体交渉で職場復帰という全面勝利で解決した。心から喜び合いたい。長い苦しい闘争を闘い抜いた吉田さん、本当におめでとう。しかし、職場復帰したことは闘い終着点ではない。今後は職場で全国一般労働運動が今後も闘いは困難が待ち構えている。引き続き、分会の組織拡大など、職場での闘いの前進を目指し闘争体制は継続しなければならない。

未解決分会は、この職場復帰という勝利解決に自信と確信を持ち、自らの闘いを1日も早く勝利しよう。

2014年末闘争

多くの分会で前年同額・率以上を引き出す！

ベップ物流分会、一時金闘争の中で
賃下げ提案を撤回させる！

今期、年末一時金を取り巻く情勢は、消費税アップ後、10月には物価が前年比2.9%も上がり、景気も冷え込み、中小企業では売り上げ・業績が悪化するなかでの闘いであった。全国一般福岡地本、各支部分会の年末一時金闘争は、12月28日現在、91分会で具体的回答を引き出し妥結した。

筑後支部では、運送分会が燃料費のアップから厳しい交渉を強いられている中、ベップ物流分会が会社からの賃下げ提案を白紙撤回させた。また、11分会で前年以上を引き出した。

北九州支部では、33分会で前年以上を引き出した。日本管財分会が春闘、夏季一時金、年末一時金交渉を9ヶ月間交渉を行い、闘争体制を通告する中で12月末に、いずれも前年支給額に上積みし、さらに組合解決金15万円を引き出し妥結した。若松鎮西運送分会は越年闘争となっている。

福岡支部は、西部ガス設備点検分会638,750円、川崎工機分会598,416円など、22分会で前年以上の回答を引き出した。

大牟田支部では、大牟田中央病院分会が経営側の不誠実な交渉で越年闘争となっている。運送関係、自動車学校も厳しい経営環境の中、経営側の引き下げ提案を少額で押しとどめた。

筑豊支部では、西日本カントリー分会が厳しい経営環境の中でも前年同一水準を引き出すなど、6分会が前年以上で妥結し、自主再建中のエース分会は運賃収入が改善して再建の目途が立ってきている。

越年闘争で闘っている未解決分会は、全国一般闘争指令に基づき、1月中には必ず解決を目指し闘争体制を強化し頑張り抜こう！

福岡地本回答・妥結状況 (12月28日現在)

(北九州支部)

北九州宇部コンクリート分会	520,000円	(前年500,000円)
曾根生コンクリート分会	520,000円	(前年515,000円)
小倉コンクリート分会	470,000円	(前年450,000円)
森川産業分会	680,628円	(前年673,878円)
門司ゴルフ分会	395,000円	(前年365,955円)
江藤運輸分会	505,000円	(前年450,000円)
エヌエスジーアッセン分会	366,700円	(前年284,800円)

喜楽鋳業分会	432,000円	(前年 -----)
野中産業分会	338,690円	(前年334,900円)
日豊興産分会	360,000円	(前年370,000円)
正門司分会	275,000円	(前年270,000円)
北九州ミートセンター分会	基準1.8ヶ月	(前年1.7ヶ月)
松藤商事分会	309,408円	(前年310,074円)
サンエストラテック分会	248,634円	(前年238,389円)
東筑物流分会	260,000円+α	(前年260,000円)
州自動車学校分会	246,019円	(前年246,018円)
ツバメ運送分会	200,000円	(前26万円勤続5千円)
サンキュウTK分会	280,400円	(前年274,133円)
小倉運送分会	229,000円	(前年219,000円)
大進商運分会	250,000円	(前年250,000円)
梅鉢運輸分会	50,000円	(前年40,000円)
共和会パート分会	30,000円	(前年30,000円)
NHK委託分会	事務費1.90ヶ月	(前年1.90ヶ月)
エネルギーネット分会	基準内1.50ヶ月+4000	(前年同額)
九州清掃事業センター分会	基本給1.755ヶ月	(前1.755ヶ月)
丸十環境分会	基本給1.80ヶ月	(前年1.75ヶ月)
日本管財環境分会	基本給1.2ヶ月+α	(前年1.2ヶ月)
西日本エアーウォォ分会	勤続給+業績給	(前勤続給業績給)
北九州救護施設分会	人勧準拠	(前年 人勧準拠)
おかがき病院分会	基本給2ヶ月	(前年基本給2ヶ月)
グループホームみどり分会	基本給2.3ヶ月	(前年-----)
花乃路分会	基準内1.3ヶ月~1.6ヶ月	(前同)
ソレイユ保育園分会	基本給1.5ヶ月	(前年1.24ヶ月)
北九州救護施設分会	人勧準拠	(前年 人勧準拠)
クラウン分会	50,000円	(前年50,000円)
片桐研磨工業所分会	賃金総額1ヶ月	(前年同)
若松鎮西運送分会	交渉中	(前年200,000円)
玄洋分会	自主再建中	
総合園材分会	自主再建中	

(福岡支部)

西部ガス設備点検分会	638,750円	(前年622,500円)
川崎工機分会	598,416円	(前年583,901円)
理研農産加工分会	589,450円	(前年588,205円)
福岡いづみ運輸分会	448,300円	(前年447,062円)
西福運送分会	200,000円	(前年170,000円)
九州協同食肉分会	基3.2ヶ月	(前年3.2ヶ月+5000)
園芸連甘木分会	基2.0ヶ月	(前年2.0ヶ月)
NHK委託分会	事務費1.90ヶ月	(前年1.90ヶ月)
にしけい分会	332,905円	(前年320,000円)
三和興産分会	150,000円	(前年120,000円)
三和陸運分会	40,000円	(前年40,000円)
梅谷コンクリート分会	360,900円	(前年350,900円)
福岡環境整備分会	2.0ヶ月	(前年2.0ヶ月)
エフケイケイ分会	2.0ヶ月	(前年2.1ヶ月)
大和スレート分会	1.4ヶ月	(前年1.3ヶ月+5000)
ナガノインテリア分会	248,529円	(前年1.2ヶ月)
朝倉浄水分会	1.5ヶ月	(前年1.5ヶ月)
甘木合同運輸分会	87,600円	(前年88,500)
共働タクシー分会	170,000円	(前年170,000円)

久山運送分会	200,000円	(前年200,000円)
宝栄運送分会	85,000円	(前年 70,000円)
ワカスギ分会	115,000円	(前年 80,000円)
深田運送分会	50,000円	(前年 50,000円)
ニシヒロ分会	141,000円	(前年145,468円)
作販コンクリート分会	344,100円	(前年344,100円)
東福岡自動車学校分会	322,905円	(前年354,806円)
宗像市公園公社分会	2.0ヶ月	(前年1.95ヶ月)
第一警備保障分会	217,000円	(前年 -----)

(筑後支部)

白谷運輸分会	65,000円	(前年55,000円)
柳川合同分会	50,000円+年功-1万	(前年 同額)
筑後大鶴タクシー分会	歩合0.75%~5.75%	(前年0.5~5%)
久留米自動車学分会	1.9ヶ月	(前年1.95ヶ月)
小郡自動車学校分会	246,330円	(前年243,360円)
文化振興会分会	勤勉手当+0.15ヶ月	(前年2.05ヶ月)
東和グローブ分会	2.2ヶ月	(前年2.15ヶ月)
ダン産業分会	312,748円	(前年302,311円)
日本生物製剤分会	2.1ヶ月	(前年2.0ヶ月)
ゆうかり学園分会	2.2ヶ月	(前年2.05ヶ月)
素王福祉分会	2.05ヶ月	(前年2.05ヶ月)
ベップ物流分会	賃下げ提案撤回	(前年 -----)
チクホー分会	43,000円	(前年43,000円)
柳川自動車学校分会	193,798円	(前年193,798円)
久留米工業専門学校分会	1.65ヶ月	(前年1.75ヶ月)

(大牟田支部)

大牟田運送分会	292,000円	(前年322,000円)
大牟田総合整備分会	0.75ヶ月	(前年0.75ヶ月)
鹿田タクシー分会	B型賃金	
こだまタクシー分会	B型賃金	
中央自動車学校分会	1.7ヶ月+考査×800+40,600	
大牟田中央病院分会	0.5ヶ月	越年交渉中

(筑豊支部)

西日本カントリー分会		
社員	1.0ヶ月	(前年1.0ヶ月)
キャディー	135,736円	(前年135,736円)
管理	171,000円	(前年171,000円)
ハウス	177,000円	(前年181,666円)
準社員	157,858円	(前年155,700円)
パート	1万~3万円	(前年1万~3万円)
清々舎分会	基2.31ヶ月	(前年基2.31ヶ月)
エコシップ分会	基2.15ヶ月	(前年基2.15ヶ月)
中間シルバー人材分会	2.05ヶ月	(前年2.05ヶ月)
香栄運輸分会	250,000円	(前年250,000円)
東洋工業分会	0.76ヶ月	(前年0.96ヶ月)
西田工業分会	0.6ヶ月	(前年 -----)
エース分会	自主再建闘争中	